

第1回鳥取県自動車運転免許試験場整備地検討委員会会議録

開催日時	平成17年5月17日(火) 10:00~12:00
開催場所	倉吉市清谷 倉吉警察署 3階 訓授室
出席者名	出席委員 喜多秀行委員長 石井裕之委員、谷口義人委員 谷本弘子委員、富田敏一委員 平野裕章委員、矢倉紀子委員 計7名 事務局出席者 警察本部・金丸警務部長 濱澤会計課長、宮脇運転免許課長、西垣運転免許試験場長 会計課丁田課長補佐、会計課・運転免許課員2名
議題	検討委員会の進め方、同試験場整備事業の概要、選定検討項目の検討、次回委員会の日程協議に係る審議
問い合わせ先	警察本部会計課 丁田課長補佐 0857(23)0110 (内線2233)

会議内容：

会議の概要(主な意見)

- (1) 検討委員会の進め方について
- (2) 運転免許試験場整備事業の概要について
- (3) 選定検討項目の検討について
- (4) 次回委員会の日程協議について

一 検討委員会の進め方について

事務局 委員会の公開・非公開、会議録の作成、今後の予定について協議をお願いする。
事務局としては、運転免許試験場の整備候補地を選定することから、選定過程を県民に明らかにしたい。

委員 原則公開だが、個人情報保護法が施行され、氏名を公開することで、自由な論議を妨げられる可能性がある。しかし、この委員会では非公開となる案件は出てこないと思うので、公開でいかがでしょうか。

～ 「はい」という声あり ～

委員 では、そのように進めます。

事務局 会議録については、次回の冒頭に各委員に点検してもらう。内容は発言の要旨的なもので、情報公開には個人名は伏せて対応することとしたい。

委員 県民が必要とする情報は、誰が何を言ったかではなく、議論の内容がきちんと伝わるような形であればよい。よろしいでしょうか。

～ 「はい」という声あり ～

委員 では、そのように進めます。

事務局 今後、議事の進め方によって変わるが、7月下旬までに今日を含めて4回の開催が必要と考えている。

委員 7月下旬に結論を出すのであれば、最低4回の議論は必要だと思う。

二 運転免許試験場整備事業の概要について

事務局 運転免許試験場整備事業の概要について説明

委員 いろいろな計画を立てる場合、供用期間や計画目標年次を立て、その間までにどういう利用があるのか、利用者に対して十分なサービスが提供できるのかを考える。例えば、30年、50年使うのと一時的に使えばよいのでは場所の選定が変わってくる。法改正により使い方が変わり、それに伴って技術も変わる。更に人口構成、年齢構成の変化もあるとの説明があったが、その他補足事項があれば説明して欲しい。

事務局 先程の説明で、運転免許試験場の敷地面積が4万㎡必要だと言っていたが、たまたま全国の免許試験場の平均敷地面積と一致した。県民の税金を使う以上、百年の計に立って考える必要がある。県民人口は60万人で減少傾向にあるが、現在の若者が免許を取得すれば免許人口が増加するのは当然で、16年度の増加率は前年の1.1%である。また、道路交通法は度々改正され、その都度、講習の充実が叫ばれ、講習が細分化されてきた。例えば、高齢者講習は平成9年の法改正では対象が75歳以上であったが、平成14年には70歳になった。国会ではもっと年齢を下げるべきだという議論もあり、今後、施設面では講習室の細分化、講習機器の充実、試験コースにおける実技講習など、講習の充実が求められる可能性がある。したがって、建物や構造物の耐用年数に加えて、増築スペースの有無という面も考慮しておく必要がある。

委員 免許人口だけでなく、講習の質や内容が変わってくることは分かった。高齢者には、免許更新時だけチェックするのではなく、人間ドック同様、年1回自分の運転能力をチェックあるいはアドバイスを受けながら、常に必要な運転能力を維持していくようなことも必要で、その施設としては運転免許試験場が最適だと思うが、そうなれば、運転免許試験場の機能あるいは提供するサービスも随分変わってくると思う。施設や機能の中身は警察で考えてもらい、それを参考にしながら検討して行く必要がある。基本構想の4万㎡（注：内訳は、四輪コース2万7千㎡、二輪コース3千㎡、庁舎4千㎡、駐車場3千㎡（150台）、車庫1千㎡供用スペース2千㎡、＜現所在地は約2万5千㎡、内訳は、試験コース四輪・二輪併用で約2万㎡、庁舎は2千㎡、駐車場54台＞）は良いが、どれくらい余裕があるのか、あるいは場所によっては、面積的に制約がある所やゆったり取れる所もあると思う。また、用地の取得や整備のしやすさ、提供できるサービスの質などあらゆる面を考えて、どこが良いのかを選ぶことになると思う。後日でいいが、敷地面積が狭くなれば、どういう機能やサービスの提供ができなくなるのかも示して欲しい。

整備地を検討する委員会なので、整備地の規模や内容はかなり密接に関連して

いると思うが、検討委員会はどこまで検討すべきか。施設規模、基本構想を前提にして検討して欲しいのか、また、少し踏み込んで検討して欲しいのかの情報もいただければと思うが、一応は、基本構想を前提に考えるということでもいいか。検討過程でもう少し踏み込む必要があれば、その都度、考えていけばいい。

委員 この3か所（注：大栄町から提示された候補地は、現在地での拡張案＜周辺民有地の買収が必要＞と大栄町妻波地内民有地＜買収＞の2か所、警察本部が選定した候補地は、湯梨浜町浅津地内の県有未利用地＜不足分は民有地買収＞）から選定して欲しいということか。過去を検証して未来を模索することが大切だが、将来的には人口が減少し、また鳥取県は交通アクセスが悪く、今後、高速網が整備されていくと聞いている。いろいろな面から考えた場合、拡張の余地、買収の余地がある候補地の方が良いし、バリアフリーとか高齢者を大切にす環境も選定基準になると思う。候補地の一つは、住民の8人が未だ買収について検討されていると聞いている。

事務局 現在の候補地は3か所である。大栄町の2か所については、試験場を整備するとしたら土地を売却してもらえるか、町が伺っているようで、その時点ではダメだという回答はなかったと聞いている。湯梨浜町についても町を通じて話を進めていただいているが、現時点ダメだという意見はないと聞いている。いずれにしても、地権者の同意が前提であることから、決まっていない部分については、事後報告させてもらう。

事務局 買収額は不明であるが、地権者からは一応協力していただけると聞いている。

委員 やはり免許人口が必要かと思う。仕事をする場合、車を使う率は非常に高い。

委員 候補地というのは、代替案のようないくつかある中でどれでいくのかの、どんな案があるのか、実はこれを決めるのが一番重要である。いくら綿密に検討しても、非常に良い案が、その中から外れていけば絶対にそこに到達しない。

したがって、検討すべき候補地をいかにきちんとリストアップするのが一番大切である。最初から候補地を絞って検討すると、もっと良いところがある可能性を逃してしまう場合もあることから、なぜ、3か所の候補地に絞ったのかを県民に説明しなければいけない。

ただ、整備の期間があり、延ばしたことに対するデメリットや十分な調査ができるといったメリットもあって、そのバランスが大事である。整備の期限を勘案すると、ある程度目途のついている中から選ぶというのが適切と考える。

一からやり直せば、デメリットはかなり大きくなると思うので、3つの中から検討しても良いと思う。

委員 なぜ、3候補地が良いのかを県民に説明することが大前提だと思う。その中で、いろいろな団体から選出された委員が、3候補地の中から検討して決めていけたら良いと思う。

委員 いただいた資料のデータ（注：平成9年5月、同17年1月の2回、運転免許試験場来場者に対して行ったアンケート結果）を見ると、郡部から来られる方の9割が車に同乗して来られる。新卒者、外国の方、新たに免許を取得される方は列車で来られる。日南町から来る場合は2時間くらいかかる。そこで、まず交通

の利便性、次に土地、3か所の中にも形状によっては200mの直線がとれないなど、もっと詳しいデータが出てこないと委員会としての方向も出てこない。予算の問題もあるし、委員会の進め方をもっと明確にして欲しい。

委員 今初めて資料の中にある県議会の討議（注：平成3年度及び同13年度決算審査特別委員会の指摘事項、同元年・8年・9年及び17年2月の県議会質問）や町民の意見（注：運転免許試験場整備に関する新聞報道）を見たが、現在地の一番のデメリットとして、駐車場が狭い、老朽化と書かれている。しかし、現在地の状況でなぜ不都合なのかが理解できない。皆様の税金でつくるので、一番コストがかからず、便利なところが良いわけで、拡張できるとしたら、できることを前提に現在地の何が一番いけないのかを説明して欲しい。

事務局 一番の問題点は業務を行いながら工事をする点にある。現状のコースは、1万9千㎡、これを部分改修しながら、講習、運転免許業務、検定をやらなければならない、工事のやり方によって工事毎に検定コースが変わり、工事の中で検定を行う。工事の騒音の中で試験や講習を受ける。つまり、業務をやりながら工事すると、利用者の方に不便をかけることが多いことにある。

委員 現在地の拡張は、ある意味で不可能だということか。

事務局 非常に難しいと考えている。

委員 不可能というか、先程言われたデメリットがあるということですね。

委員 3か所の候補地があるけれど、一番の問題は費用だと思うが、買収費、拡張費、建築費の3点については検討したのか。

事務局 建築費については、どこに建てても一緒である。買収費、造成費等の問題も出てくるので、細かく検討しなければいけないと思っている。

委員 その費用面についても資料提出していただきたい。

委員 費用面が重要な評価項目になると思う。

委員 以前、別の建物で経験したが、現在地改修の可能性は大だと思う。また、別の候補地に移転した場合、現在地はどうするのか。あるいは、売買して土地購入費にあてるのか。

事務局 現在地の土地は大栄町から借用している。大栄町から提示された妻波の5万㎡は民有地であり、整備するのであれば買収が必要である。湯梨浜の土地は県有地であるが、不足分の何千㎡かは買収しなければならない。

なぜ、この3か所かという問題の一つは、平成9年と今年、免許試験場の利用者に対して、「免許試験場を建て換えるとしたらどこが良いか」とアンケートを行ったところ、県中部の人はもちろん、東・西部の人も半分以上が中部地区での整備が望ましいという結果が出た。また、免許試験場にある中部の免許センターだけが、住民サービスを図るため休日の免許更新業務行っている。県の中部に位置することから、県のどこから来ても同じくらいの時間で来れることが、アンケートの結果につながったと思う。これが県民のニーズだと理解し、まず中部地区から外れないこと、また3か所のメリット、デメリットを検討していただき、どこが良いかを検討していただければ良いと思っている。

委員 どういうものを造るのかということは、県民の関心が非常に高く、県民を代表

して我々が納得できなければいけないと思うので、次回に資料を提示して欲しい。それを見て、何が不足しているのかを検討したら良いと思う。

委員 県民に理解してもらうためにも、この問題について、「将来の運転免許者に対する・・・」といったキャッチフレーズが必要だと思う。単に3か所の内どれが良いか、お金が高いとか安いとか、利便性が良いとかだけでなく、警察はどのような試験場を目指すのかを示していただければ良いと思う。

委員 今言われたことは非常に重要で、我々は普通、問題が起きたらどう解決するかという問題解決型パターンで考えるが、ともすれば場当たりのようになってしまう。免許試験場を造るに当たって、県警が望む試験場のイメージがあるのとないのではかなり違う。委員の指摘を参考にしてはどうか。ホームページで検討結果を公表するにしても、1ページ目のタイトルによって次ページを読んで見ようと思う。

委員 県民がすんなり受け入れられるものが良いではないか。

委員 行政は責任を持つという意味で縦割りにならざるを得ない場合もあるが、いろいろな機能を組み合わせて使いやすいものにしていくことを考えなければならない。例えば、郵便局のコンビニ化の話があるが、すぐに省庁の枠を越えた話になってしまう。運転免許試験場にしても、ドライバーが利用する道の駅を組み合わせれば、休憩している間に高齢者がテストを受けれる。そういうことがあってもいいのではないか。

施設整備を考える場合、集中型か分散型かを考えるのだが、全県で一つ造るのであればアクセスを考え中部となる。しかし、アクセスだけ考えると東・中・西部に分散という考えも出てくる。整備費という造る側の費用とそこに来る県民が払う費用もある。造る側と利用する側がトータルの費用をいかに少なくするかを考えなければ無駄が出てくる。費用面については、検討項目にもかかる問題なので、事務局から説明して欲しい。

三 選定検討項目について

事務局 資料により説明

委員 事業費、将来の可能性、利用者の利便性についての説明を受けたが、これ以外にも検討すべき項目があると思う。先程、代替案、候補地に漏れがあるとダメだという話をしたが、検討項目も漏れがあったら、後でしまったということになる。検討項目を早く出し考えをまとめる必要があるので、意見を出して欲しい。

検討項目、評価方法が詳しく書かれていないが、今までの議論で漏れているものがないかをユーザーの立場で考えて欲しい。

委員 検討内容はこれでいいが、次回に詳しい資料がいただけないか。

事務局 出す予定である。

委員 候補地の中にはバス停の問題とか出てくると思うが、今後、委託する事業の結果はいつ出るのか。

事務局 次回で検討項目を決めていただければ、それに基づいて調査を行うことから、次回以降となる。

バス停の話が出たが、バス会社などの相手があることから設置の確約はできず、バス停設置の要望書の提出という評価にとどまると考えている。県民のために便を増やすとか、バス停を造らなければ意味がない等も評価となり、この項目であればこの候補地が良いというイメージになる。金額の話だが、土地は単純に路線価格でいくらということも考えられる。

委員 重要なことなので、前もって資料をいただきたい。

事務局 検討項目については、資料を持ち帰って意見がありましたら、事務局に連絡いただければ、次回に検討させていただく。

委員 望むべきはそういう意見を今ここで披露しあえれば良かった。

資料や議事録については、検討委員会の場でもらっても十分見られませんので、事前にメールか郵送でお願いしたい。

事務局 次回の会議の1週間前までに、みなさんからいただいた意見と合わせて全委員に届けるようにする。

委員 委員の意見にバス停とか具体的なものが出てきたが、検討項目に細目を作ってはどうかという指摘と理解した。例えば、利用者の利便性にはバス停、駐車場の広さ、駅からの距離などの項目があるが、細かく分けていくと枝別れした木になるというのが私のイメージである。

どの枝にも属さなければもう1本枝を増やす、つまり検討項目を増やすとか、この項目は別の項目の下にすれば分かりやすいとかを検討いただければ、大項目と具体的項目としてのレベル、この項目では議論が噛み合わないから全体で考えてはどうかといったことが次回までにできれば分かりやすいし、最終的には県民の方にも分かりやすいのではないか。

委員 考えるに当たっての基礎データを、抽象論ではなく、何日には何を、何日には何をと提示いただければ、会議もより有意義になる。

委員 事務局も検討委員会を進めるに当たって手探りのところがあり、どういう資料を何時までに準備してほしいという形で要望していきたい。検討するために何が必要なのか、こういうデータがないのかを今検討いただければ、事務局としてもやりやすいのではないか。

委員 この会議はトップダウンではなくて、並列的にお互いがキャッチボールしながら考えるのが良いと思う。

委員 上下関係のない委員会なので、お互いが知恵を出していきましょう。委員が言われたように、こういうことを知りたいといったことがあれば、遠慮なく言っていただきたい。

委員 今回3か所の場所が提示されているが、形がかなり違う。コース案の構想が出ていたけれど、3か所の土地でどういうコースを予定しているのか、予想図があれば、ある程度土地の選定が見えてくるのではないか。

事務局 コースの基本構想を資料の中に入れていますが、これは理想的なコースである。土地によって若干の変更があるが、変更にも許容範囲がある。具体的には、土地が決まってから基本設計になるが、イメージは提出できると思う。

委員 検討項目が9つ（注：用地取得の可否、業務への支障、事務費の多寡、工事に

関する問題、利用者の利便性、施設の機能性、敷地の有効利用、維持管理経費、周辺環境への影響) 並んでいるが、大別すれば、利用者の評価、設置者の評価、地域社会に及ぼす影響、周辺環境への影響の4つである。

設置者の評価は、用地取得の難易度や現在地であれば工事する際の支障等の整備する際の評価と維持の容易さ、将来的な拡張の可能性等の完成後の運用段階の評価に分かれる。

地域社会への影響には、迷惑をかけるというマイナス面と人が来ることによるプラスの影響もある。

4つの大項目に9つの検討項目がぶらさがり、その下に小項目がぶら下がる形となる。これは、利用者側からみればこちらの候補地が良いが、設置者側からすればこちらが良いとずれが生じることもあり、それをどう考えるか

多くのやり方は、総合的に検討した結果こうなったで終わっていたが、今は、県民にどのように総合的に検討したのかを示す必要がある。示すに当たっては、例えば、検討項目毎に点数を付けて出す方法がある。項目毎に設置者の意思があり配点が違う。これを次回の主な議題として、それを考えるための材料を整理するなど勉強したい。

第2回目の予定の中に評価方法の検討があるがこれが難しい。例えば、施設の機能性があるが、機能という観点から点数を付けるとなると、どういう条件を充たせば機能が高いのかという話も出てくる。利用者の利便性にしても“平均的利用者”という人がいるわけではないので、ある人には利便性が良くてもある人は使いにくいということもある。

木の枝のイメージで、この下にどんなものがあれば評価したことになるのか考えていただきたい。維持管理は警察側で考えていただくとして、周辺環境は我々でもある程度できる。委員も得手、不得手があるが、利用者及び地域社会に関することについては、いろいろ意見があると思う。書きやすいところは人によって違うので、書きやすいところを書いて、それを集めると大体まとまるというか、それが非常に美しい方法かなと思っている。

次回は説明主体ではなく、意見主体で進めていきたいと考えており、こういう情報があれば議論に役立つ、これが知りたいというものがあれば、事務局に連絡していただきたい。

四 次回委員会の日程協議について

委員 次回の日程はどうか。

事務局 次回は、6月中旬、警察本部会議室での開催を予定しています。日程については、後日、個別に伺うこととする。

委員 ヒアリングはどうか。

事務局 大栄町と湯梨浜町の方から、自分の町に整備して欲しい、経緯をお話ししたいとの希望がきておりますが、行くとすれば次回行いたいので、検討願います。

委員 地域社会への影響と実際を考えられていると思います。良いところだけお話し

やる可能性もありますが、こういうところはどうかと質問もできると思います。
意見がないようですので、公平な評価が揺れないよう留意していただいて、少し
ご説明いただくことにしたいと思います。時間はどれくらいですか。

事務局 1か所10分を考えている。

委員 説明したいポイントを書いて整理していただければ分かりやすいかもしれない。

事務局 事務局で考えてみる。